

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 栄養専門課程 管理栄養科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
1 コンピュータ入門	SEとしてシステムを組んでいた経験を活かし、実際のシステムでの応用例なども含め、コンピュータの活用を教えることができる。	秋葉 広人	秋葉 広人 ※	1	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
2 情報科学実習	SEとしてシステムを組んでいた経験を活かし、実際のシステムでの応用例なども含め、コンピュータの活用を教えることができる。	秋葉 広人	秋葉 広人 ※	1	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
3 人体構造機能学実習	企業および研究所での研究経験を踏まえ、研究の意義及び応用方法がどのように展開されるのかを概説する。	保住建太郎	保住建太郎 ※	2	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
4 生化学I	企業および研究所での研究経験を踏まえ、生体物質の意義及び利用方法がどのように展開されるのかを概説する。	保住建太郎	保住建太郎 ※	1	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
5 生化学II	企業および研究所での研究経験を踏まえ、生体物質の意義及び利用方法がどのように展開されるのかを概説する。	保住建太郎	保住建太郎 ※	2	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
6 生化学演習	企業および研究所での研究経験を踏まえ、研究の意義及び応用方法がどのように展開されるのかを概説する。	保住建太郎	保住建太郎 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
7 生化学実習	企業および研究所での研究経験を踏まえ、生体物質の意義及び利用方法がどのように展開されるのかを概説する。	保住建太郎	保住建太郎 ※	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
8 基礎調理学実習	給食現場での経験を踏まえ、安全で衛生的、合理的な作業のあり方と、基礎的な食品の調理法を概説する。	千喜良たまき	千喜良たまき ※	1	後期	1 単位	45 単位	必修	実習
9 臨床栄養学 I	病院での臨床経験を踏まえ、メタボリックシンドロームから発症する生活習慣病発症の予防と治療・食事療法がどのように展開されるのかを概説する。	大友 崇	大友 崇 ※	2	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
10 臨床栄養学 II	病院での臨床経験を踏まえ、循環器系・泌尿器系・血液疾患の発症機序並びに治療・食事療法がどのように展開されるのかを概説する。	大友 崇	大友 崇 ※	2	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
11 臨床栄養学 III	病院での臨床経験を踏まえ、消化器系疾患（がんを含む）の発症機序並びに治療・食事療法がどのように展開されるのかを概説する。	大友 崇	大友 崇 ※	3	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
12 臨床栄養学 IV	病院での臨床経験を踏まえ、呼吸器系疾患（がんを含む）、褥瘡等の発症機序並びに治療・食事療法がどのように展開されるのかを概説する。	大友 崇	大友 崇 ※	3	前期	2 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 栄養専門課程 管理栄養科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
13 臨床栄養学演習Ⅰ	病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。	大友 崇	大友 崇 ※	4	後期	1 単位	30 時間	必修	演習
14 臨床栄養学演習Ⅱ	現在医療の現場で活躍している北里大学関連病院の管理栄養士が、現状を踏まえて実際の栄養管理について疾患別に概説する。	大友 崇	大友 崇 ※ 佐藤 照子 ※ 畑 五月 ※ 人見麻美子 ※ 近藤 関子 ※ 斉藤 紀子 ※ 太田 裕子 ※ 吉田 朋子 ※ 宮原 陽子 ※ 宮永美佐子 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
15 臨床栄養学実習	病院での臨床経験を織り交ぜながら、症例を用いてアセスメント、プランニング、モニタリング等の医療現場での流れを体験する。	大友 崇	細川 学 ※ 大友 崇 ※ 外山 竹弥 ※	3	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
16 栄養補給法実習	福祉施設における経験を踏まえ、適切な栄養補給法の選択及び食事提供を通しての栄養ケアを概説する。	柄澤 美佳	柄澤 美佳 ※	3	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
17 公衆栄養学Ⅰ	新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。	真島 和徳	真島 和徳 ※	2	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
18 公衆栄養学Ⅱ	新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。	真島 和徳	真島 和徳 ※	3	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
19 公衆栄養学実習	新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。	真島 和徳	真島 和徳 ※	3	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
20 公衆栄養学演習	新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。	真島 和徳	真島 和徳 ※	4	後期	1 単位	30 時間	必修	演習
21 給食経営管理論Ⅰ	給食施設における給食の運営、栄養管理の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる	佐久間直美	佐久間直美 ※	1	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
22 給食経営管理論Ⅱ	給食施設における給食の運営、栄養管理の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる	佐久間直美	佐久間直美 ※	2	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
23 給食経営管理論実習	給食施設における給食の運営、栄養管理の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる	佐久間直美	佐久間直美 ※	2	後期	2 単位	90 時間	必修	実習
合計						34 時間	870 時間		

行は適宜追加してください。

シラバスの関連項目と記載を一致させてください。